【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和8年度学校評価 計画

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

学校名	唐津市立西唐津中学校

1　前年度 評価結果の概要	・生徒も職員も安心安全に生活できる学校づくりを目指して、学力向上の取組や生徒指導にあたることができた。 ・校内研究や職員個人のマイプランに基づき、授業改善を進めているが、十分な成果が現れていない。今後もＩＣＴの利活用等を含めた指導法の研究が必要である。 ・いじめ防止の取組やキャリア教育等について、講師招聘などを行い、継続して実践していく必要がある。 ・ＩＣＴ利活用により、業務の効率化や情報の共有化が進展した。今後も学校組織のスリム化を進める。
2　学校教育目標	自他の「いのち」を尊び、自分の力で未来を切り拓く生徒の育成
3　本年度の重点目標	1　生徒も職員も安心安全に生活できる学校づくり 2　教職員の人材育成（未来を担う若手教職員の指導力向上） 3　学校組織のスリム化

4　重点取組内容・成果指標　／　**中間評価**　／　**5　最終評価**

（1）共通評価項目

重点取組 評価項目	重点取組 取組内容	重点取組 成果指標（数値目標）	具体的取組	中間評価 進捗度（評価）	中間評価 進捗状況と見通し	最終評価 達成度（評価）	最終評価 実施結果	学校関係者評価 評価	学校関係者評価 意見や提言	主な担当者
●学力の向上	○基礎学力の向上のための授業づくりの実践 ○補充学習と放課後学習会の実施	○「授業の内容を理解している」と肯定的な回答をした生徒の割合が70%以上。 ○「意欲をもって補充学習に取組むことができた」生徒の割合が70%以上。	・校内研修を通して、指導方法や評価の在り方について研究実践を行う。 ・電子黒板やタブレット端末などのICTを積極的に活用した授業改善に取組む。		・		・		・	・学力向上対策コーディネーター ・研究主任
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした生徒80%以上。	・複数の教員による道徳授業を組むことで、様々な授業の展開を行い、生徒の思考を深める。 ・学校行事や地域行事等への積極的な参加を促す。		・		・		・	・道徳教育推進教師 ・各学年主任
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等（いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等）について組織的対応ができていると回答した教員90%以上。	・いじめの防止、対応についての研修を年間2回以上行う。 ・覚知時には対策委員会を立ち上げ、保護者と連携しながら解決に努める。		・		・		・	・生徒指導主事 ・教育相談担当
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒75%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒70%以上	・キャリア・プランの作成とキャリア・パスポートの記入による、見通しと振り返り活動を行う。 ・キャリア・パスポートと学校生活を繋げることで自分の長所に気付かせる。		・		・		・	・進路指導主事 ・各学年主任
●健康・体つくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	○「健康に食事は大切である」と考える生徒85%以上。 ○朝食を食べる割合90%以上。	・体験活動等を活用して食への関心を高める。 ・各学級1回は学活の時間に食育指導を行う。		・		・		・	・保健主事（養護教諭） ・学校栄養職員 ・家庭担当教諭
	○教育相談の推進	○「学校生活が楽しい」と回答した生徒の割合が70%以上。	・気になる生徒の把握をする会議を定期的に行う。また、SCやSSWの活用などを教育相談部会を定期的に行う。		・		・		・	・教育相談担当
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・定時退勤日の設定と実施を明示化をする。 ・部活動ガイドラインに則った部活動休養日の設定と確実な実施。 ・会議のペーパーレス化など会議や事務の効率化を図る。 ・閉庁日に会議や研修を実施しない。		・		・		・	・管理職
	○ICT活用による連絡等の効率化	○「はなまる連絡帳」アプリ版の活用によって効率化が進んだと回答する保護者・教職員の割合が80%以上。	・通信類のペーパーレス化やデジタルによる双方向化を推進する。		・		・		・	・管理職
●特別支援教育の充実	○特別支援教育に関する教員の専門性と意識の向上	○特別支援教育に関する専門性が向上したと回答した教員70%以上。	・特別支援教育に関する研修会を実施する。		・		・		・	・特別支援教育コーディネーター

（2）本年度重点的に取り組む独自評価項目

重点取組 評価項目	重点取組 重点取組内容	重点取組 成果指標（数値目標）	具体的取組	中間評価 進捗度（評価）	中間評価 進捗状況と見通し	最終評価 達成度（評価）	最終評価 実施結果	学校関係者評価 評価	学校関係者評価 意見や提言	主な担当者
○生徒会活動の活性化	○生徒の主体的な活動の活性化	○規則正しい生活習慣の醸成を行い、あいさつの意識づけや授業遅刻者を0（ゼロ）にする。	・生徒会を中心にあいさつ運動を行う。 ・学校全体で場に応じた行動（服装・言葉遣い等）に努めさせる。		・		・		・	・生徒会担当

●…県共通　○…学校独自　◎…志と誇りを高める教育

5　総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・